vol. 800

Compass

http://nikkenkyo.jp/
info@nikkenkyo.jp

1
January
2014

Close up view of the compass

日建協

2014年 年頭所感

活気ある、明るい産業とするために
委員長の新年にあたって

2013年度 会社訪問

企業経営者へ提言、意見交換を実施しました!

Compass 800号 記念特集

私たち日建協の歩みを振り返ってみよう!

海外企画

海外作業所のお昼ごはんって どんな感じ?

ブルネイ、ケニア、シンガポール、インド
ベトナム、ニカラグア、メキシコ、ザンビア

日建協をより身近なものに! ～日建協活動勉強会～
お酒と上手に付き合おう! ②理想のおつまみ

続・東西組合細見 23 ― 三井住友建設社員組合

クロスワードタイム 他

活気ある、明るい産業とするために

日本建設産業職員労働組合協議会　　議 長　植村 芳輝

新年明けましておめでとうございます。旧年中は日建協に対し、さまざまなご意見やご指導をいただきまして有難うございました。私たちは皆さまからいただく声をしっかりと活動に活かしてまいりたいと考えています。引き続きのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

さて、2013年を振り返ると、最も日本を賑わせた話題の一つに2020年に東京オリンピックの開催が決定したことが挙げられます。経済が回復局面にある中で、更に心を浮き立たせるようなこの明るいニュースは、国民のひとりとして非常に喜ばしいことであると感じています。建設産業にとっても、オリンピック施設の建設などを通じて、世界的イベントに参加できる喜びを味わうことができるという点で歓迎すべき出来事ではないでしょうか。今後、オリンピック関連施設の建設だけではなく、本格化する東日本大震災の復興工事、リニア新幹線の着工などによって、建設産業の重要性が改めて世間から注目されることは間違いありません。これらひとつひとつを契機に建設産業が活気づき、この誇るべき産業へ入職を志す若者が増えることを願ってやみません。

ただし、これらのニュースには私たち建設産業で働く組合員にとって、単純に喜んでばかりはいられない一面もあります。組合員の労働環境は、常態化した長時間労働や入職者の減少による人手不足など、非常に厳しい状況におかれています。そのような中、オリンピックの開催の決定によって、労働環境の悪化に一段と拍車がかかるのではないかと危惧されます。建設産業における世界的な労働組合組織であるBWI*は、2022年にFIFAワールドカップが開催されるカタールの事例を基に、巨大スポーツイベントはそこで働く人たちの過酷な労働によって成り立っている、と報告しています。移民労働者の多いカタールと今の日本は簡単に比較できませんが、今後日本でもこれに似た状況が発生し、労働環境がますます悪化する危険性が考えられます。この危険性を排除しなければ、私たちは安心してオリンピックの開催を受け止めることはできません。

2014年、今は建設産業で働く私たちにとって、労働環境をより良いものに変えていくチャンスです。これまで、過度な短工期、行き過ぎた価格競争、次世代を担う人材の不足など建設産業が疲弊している中で、官民一体となってこれを改善しようとする動きが見えてきました。設計労務単価の引き上げや、適正な価格や工期での受発注の促進、など多くの施策や決議が打ち出されています。このチャンスをしっかりとものにするため、日建協は目の前の一つ一つの活動に熱意を持って取り組んでまいります。そして、皆さま組合員一人ひとりも、どうか声を上げ、一体感を持って活動していただきたいと思います。連帯した行動は産業を変える大きな力になります。

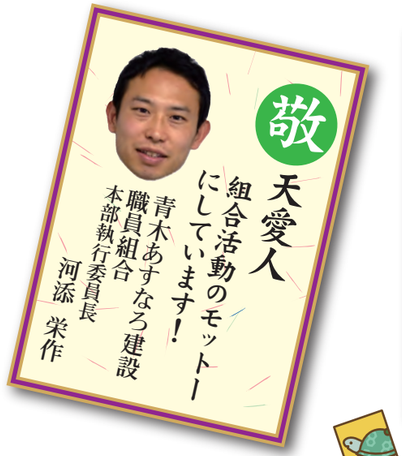
最後になりますが、本年は日建協結成60周年を迎える節目の年となります。先輩方が築きあげてきた歴史をベースに、日建協は31,000人の加盟組合員の結束力をもって、ワーク・ライフ・バランスが実現できる環境、そしてここで働く誰もが誇りを持てる産業を目指していきます。

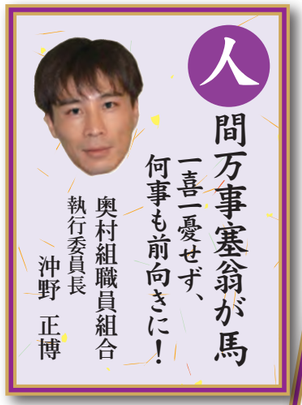
さあ建設産業の明るい未来に向けて、ともに新しい一歩を踏み出していきましょう。

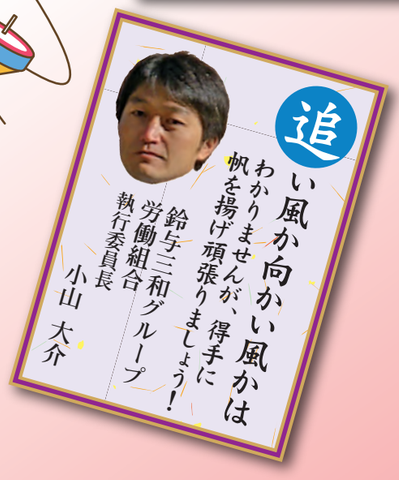
* Building and Wood Workers International
国際建設林業労働組合連盟

委員長の 新年にあたって 「好きな言葉」座右の銘

新年にあたり、加盟組合委員長の好きな言葉（座右の銘）をご紹介します。今年も一年、ともに力を合わせて進んでいきましょう！







誠実
ピーエス三菱
労働組合
執行委員長
大崎　一成

継続こそ力なり！
野村労働組合
執行委員長
森下　吉徳

有言実行
日本総合住生活
労働組合
中央執行委員長
田中　健司

一期一会
人生も現場も
その瞬間を大切に
大豊建設労働組合
中央執行委員長
稲葉　吉治

いつも元気に朗らかに
互いに仲良く協力し
大日本土木労働組合
本部執行委員長
熊澤　圭一郎

負けて、耐えて、
そして勝つ
大鉄工業労働組合
執行委員長
中村　俊一

天才は有限
努力は無限
錢高組労働組合
執行委員長
赤津　基博

迎春

継続は力なり
大きな目標達成に向け
小さな事からコツコツと！
松村組職員組合
本部執行委員長
大谷　幸一

意思あるところに
道は開ける
フジタ職員組合
執行委員長
大石　功

水滴石穿
藤木工務店労働組合
委員長
宮地　雄介

和を以て貴しとなす
今年も一緒に前に
進んでいきましょう
馬淵建設職員組合
中央執行委員長
都留　誠

強くなくては
生きていけない
優しくなければ
生きている資格はない
丸彦渡辺建設職員組合
執行委員長
田中　幸夫

ケセラセラ
三井住友建設社員組合
執行委員長
山木　啓司

大入

一致協力
東鉄工業労働組合
委員長
井口　裕司

すべての文化は
継続から成り立つ
鉄建建設職員組合
執行委員長
猪俣　直久

己が経た過去に
自信を持つ事こそ
未来への大きな道筋
大和小田急建設
労働組合
執行委員長
清野　耕壱

千里の道も一歩から
何事も積み重ねが大切です。
継続は力なり!!
東洋建設
職員労働組合
執行委員長
中村　信

晴耕雨読
飛島建設労働組合
本部執行委員長
吉川　清峰

笑う門には
福来たる！
戸田建設職員組合
委員長
阿部　実稚久

巧遅は
拙速に如かず
日本国土開発
コミュニケーション協議会
中央委員長
板垣　正二

七転八起
宮地建設工業労働組合
中央執行委員長
安田　義朗

温故知新
名工建設職員組合
執行委員長
宇佐見　利毅

初心・進化・
継続・感謝
横河工事労働組合
執行委員長
徳永　聡

幸運の女神は
勇者に微笑む
りんかい日産建設
職員組合
中央執行委員長
浦川　英樹

一心不乱
目標に向かって
真っ直ぐ突き進みます!!
中山組職員労働組合
執行委員長
佐藤　聡也

豪快に笑う人から
もらう福
西松建設職員組合
中央執行委員長
筧　哲志

福

2014年　委員長の「新年にあたって」

加　盟　組　合

企業経営者へ提言、意見交換を実施しました!

2013年度 会社訪問

日建協では、毎年加盟組合企業を訪問し、産業政策活動への理解や時短推進活動への協力を求めるとともに、産業が抱える様々な課題について企業経営者への提言と意見交換を実施しています。今年度においても多くの企業経営者と意見交換を行いました。主な内容を紹介します。

時短推進活動

※中期時短方針2013の詳細は、Compass9月号Vol.798をご覧ください。

【日建協】所定外労働時間は増加傾向、特に外勤技術系は80時間以上の割合が半数を超える。この危機的状況を労使協働で打破したい。

【経営者】⇒書類作成に時間をとられ所定外労働時間が増加しているので、少しでも書類の簡素化を図りたい。
⇒女性と男性の目線は違う。現場で働く女性の活躍を阻害する要因は結婚・出産・育児だと考えていたが、実際は『長時間労働』だ。
⇒時短の手段として、企業内の『適正な人員配置』だけでは解決は難しい。『建設産業外からのイメージと考え方を変えていく』取り組みが必要。
⇒労使による労働時間検討会では、様々な時短施策について検討を行っている。ノー残業デーの取り組みとともに、『１時間でも早く帰ろう』と呼び掛けた結果、時短が進み一定の効果があった。
⇒社内で『休もう』という意識の醸成を実施してきた結果、所定外労働時間は平均60時間/月まで減少してきた。現在は80時間以上の所定外労働をしている職員の労働環境改善に注力している。

【日建協】外勤技術系の土曜・祝日の休暇取得率は半数以下。長時間労働の原因の一つであり、なんとか休日取得を推進したい。

【経営者】⇒時短が進まないのは受注産業の特徴。『土日は作業禁止』という制度を作らないと休めないのでは。一企業の取り組みだけでは改善は困難。ただし、作業所職員も『時短意識が甘い』ところはあるので、自助努力も必要であろう。
⇒統一土曜閉所運動は労使一体となって取り組んでいる。作業所長によって休める現場と休めない現場に分かれるので、『管理監督者の意識改革』に努めていく。
⇒官庁工事は４週８休を基本としているものの、実際は４週６休をベースとせざるを得ないのが現実だ。

【日建協】組合員の約半数は建設産業に魅力を感じていない。また、20代で約4割が転職を考えている。この現状をどう思うか。

【経営者】⇒若手組合員の多くが転職を考えているという事実は由々しき問題。要因のひとつである労働環境の改善にむけて、会社として早急に取り組んでいかなければならない。
⇒東日本大震災の復興本格化や、東京オリンピック関連工事の増加に伴い、今後ますます若手組合員の力が必要となる。単に多忙を理由として離職させてしまうことの無いよう、全力で建設産業の魅力を若い世代へ伝えていかなければならない。私たち経営者としての果たすべき役割は大きい。
⇒組合と私たち経営者、立場が異なっていてもめざすべきところは同じ。今後も、労使共に協力して、建設産業の魅力化にむけて取り組んでいきたい。

産業の魅力向上にむけた活動

【日建協】女性技術者について、どのように考えているか。

【経営者】⇒入職させるだけでなく、離職させないことも会社の責務だ。男女問わず『正当かつ公平な評価』が重要。
⇒女性技術者の活躍は、非常に重要。日建協の女性技術者会議は、他の会社との交流機会であり、良い活動だ。
⇒今後の建設産業の魅力向上のために、女性技術者が増えて、管理職、さらには経営者の立場で活躍して欲しい。

【日建協】次世代を担うより多くの学生たちに建設産業の魅力を伝えるため、出前講座を実施している。

【経営者】⇒建設産業とはどういうものかを具体的に正しく伝える必要がある。実際に携わっている人の声は重みと説得力がある。
⇒建設現場のマネジメントは難しい仕事だが、やりがいも大きい。そのような魅力を若い世代に理解してもらいたい。
⇒ゼネコン志望が少ないのは、採用する側が魅力を伝える機会が不足しているからであり、反省しないといけない。

産業政策活動 ～土木～

※土木(公共)提言の詳細は、Compass9月号Vol.798をご覧ください。

【日建協】総合評価落札方式の見直しについては、受注者の労働環境をきびしくする仕組みを改めるよう国交省へ提言した。

【経営者】⇒履行確認は、品質確保の観点から必要なのはわかるが、少し過剰だ。
⇒制度の改定をしているが、受注者側の理想とする状態ではない。これからも改善にむけ言い続けていく。

【日建協】現場条件に変更が生じた場合は各種施策に沿って協議をしているとのことだが実際はどうか。

【経営者】⇒工事中止がかかり工期が延伸されるようになったが、追加費用は実態に合っていないことが多い。
⇒用地の問題ですぐに着工できないことがあり、結果的に土日の休みがない工程を余儀なくされることがある。

【日建協】国交省の施工円滑化にむけた各種施策の運用状況をどのようにみているか。

【経営者】⇒国交省直轄工事では工夫が感じられ、三者会議や設計変更審査会は有意義だ。
⇒国交省が前例を示し、他の発注者においても改善が図られることを望む。

【日建協】片務性の解消については、国交省も対応を進めている。受注者として現状を正確に伝えることが重要だ。

【経営者】⇒契約内容の中で、リスク分担を明確にすることが必要。会社としても認識を再確認し、周知徹底する。
⇒監督員の個人的な感情で結果が違うなど、人によって差がでることはあってはならない。

産業政策活動 ～建築～

※建築(民間)提言の詳細は、Compass11月号Vol.799をご覧ください。

【日建協】建築（民間）提言活動全般について意見を伺いたい。

【経営者】⇒民間契約約款では工期遅延について違約金条項があるなど厳しく縛られている。約款改定にむけた動きは重要だ。
⇒近年の天候不順を勘案すると、作業不能日に着目すること（日建協標準工期の考え方）は、非常に有効。
⇒『適正な工期』について考える機運は確実に高まっている。これまでの行政や業界団体へのアピールは効果が出ている。日建協の独自データを元に、広く産業内外へ発信して『適正な工期』の概念を広げていって欲しい。

【日建協】『適正な工期』での受発注、４週８休の実現にむけて必要なことは。

【経営者】⇒行政発注工事には一定のルールがあるが、民間工事には規制が無く、工期が受注の競争条件になっていることが問題。『不適切な工期で受注した会社は免許取り消し』などの明確なルールが必要だ。
⇒技能労働者は日給制が多く、閉所日が増えると直接収入減につながる。社会保険整備を含め協力会社などの給与形態を変えていく動きが必要なのでは。
⇒企業として『適正な工期』での受注に努めると同様に、『適正な人員配置』も考えていかねばならない。
⇒国交省以外の行政機関や、ディベロッパーなどの認識を変える働きかけも必要ではないか。
⇒発注者と受注者の行司役である設計事務所にも認識を持ってもらうことが重要。

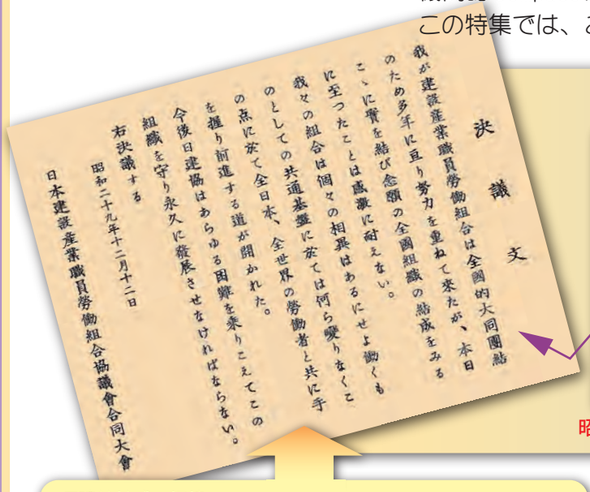
会社訪問を終えて

建設産業を魅力あるものにしなければならないという切実な思いは、企業経営者も同じであり、産業別労働組合である日建協の活動に対する期待と協力姿勢を強く実感することができました。私たち日建協は、会社訪問を通じて得られた貴重なご意見を参考とし、労働環境の改善にむけてあらゆる活動を充実させていきます。

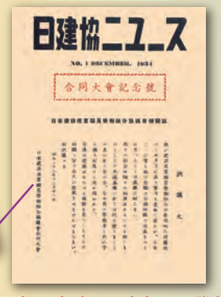
Compass800号 記念特集

私たち日建協の歩みを振り返ってみよう！

機関誌Compassは、1954年12月の初刊から発行を積み重ね、今回をもって発刊800号となりました。
この特集では、これまでの歩みを振り返ることで学ぶことも多くあると考え、日建協結成からの活動の歴史を、Compassの発行に順じて駆け足で紹介します。



第1号



昭和29年（1954年）12月発行

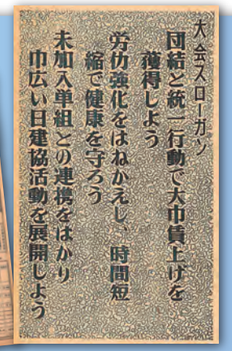
昭和29年12月12日　結成大会が八重洲の国鉄労働組合会館大会議室にて開催され日建協発足。16組合9000名により第一歩を踏み出しました。発刊当時、Compassは「日建協ニュース」という名称でした。

第42号

第42号より新聞形式となる。

昭和34年（1959年）6月発行

第100号



昭和36年（1961年）11月号

昭和36年11月23日　第13回定期大会が3日間にわたり開催されました。大会スローガンに大幅賃上げを掲げ、一人平均5000円以上を目標としました。この年は、今までにない強力な加盟組合の賃上げ闘争が展開され、大きな成果が得られました。また、時間外労働時間は最高60時間／月を限度とし、36協定の完全締結を目指すなど、時短活動においても展開を示した年でした。

第300号

昭和45年（1970年）10月発行

物価が生鮮食料品を始めとして軒並み上昇を続け、家計は赤字。その埋め合わせからボーナスは生活費の一部であると訴え、物価上昇に見合う金額を統一要求案としました。また、「70年代めざして10万人の組織づくり」を打ち出し、積極的な活動を展開。この年は地協加入やオブザーバー加入で門戸を広げ、32組合5300名の組織となりました。

日建協結成の経緯

- ●昭和21年2月 清水組従組の結成を皮切りに、建設産業の労働組合が相次いで結成。（当時、公然と組合結成準備ができるケースは少なく困難が伴った。）
- ●昭和23年11月「全日本建設工業職員労働組合協議会（全建協）」誕生。安藤・池田・日産土木・大林・鴻池・清水・西松・間の8組合、組合員数10,037名でスタート。（全建協誕生は、業界初の労働者の団体として、建設産業の歴史に新しい1ページを加えた。）
- ●昭和25年10月「全建協」解散、その翌月「建設業職員組合懇談会」を17組合で発足。その後、毎月例会を開催。（労働運動は資本の側の圧力のもと多難となり、全建協は組織の存続を図るも解散となる。）
- ●昭和28年5月 東京で20組合により「日本建設産業職員労働組合関東地区協議会」が結成。翌月、関西で11組合により「日本建設産業職員労働組合関西地区協議会」を組織。
- ●昭和29年6月 兵庫県にて行われた第3回東西地区合同協議会において、日建協の全国組織結成を決議。

・・・・・世の中の動き・・・・・

1954年
- ●マリリン・モンロー来日
- ●ビキニで米水爆実験。第五福竜丸が被曝
- ●初の集団就職列車（青森・上野間）が運行
- ●日本初の『缶入りジュース』発売
- ●自衛隊発足
- ●「ゴジラ」が公開される

1961年
- ●米大統領に、ジョン・F・ケネディ就任
- ●人類初の有人宇宙飛行「地球は青かった」
- ●「巨人・大鵬・卵焼き」が流行語となる
- ●60年代ツイストブーム
- ●ベルリンの壁建設

1970年
- ●大阪でアジア初の万国博覧会開催　EXPO'70
- ●共産主義者同盟赤軍派　「よど号」ハイジャック事件
- ●銀座・新宿・池袋・浅草の4か所で日本初の「歩行者天国」実施
- ●三島由紀夫事件

1980年
- ●国産初の液晶型携帯ゲーム機『ゲーム＆ウォッチ』発売
- ●新宿バス放火事件
- ●イラン・イラク戦争
- ●山口百恵さよならコンサート

1984年
- ●グリコ・森永事件
- ●新紙幣発行「1万円札福澤諭吉」「5千円札新渡戸稲造」「千円札夏目漱石」
- ●日本、世界一の長寿国へ

1995年
- ●阪神・淡路大震災
- ●地下鉄サリン事件・オウム事件摘発
- ●大相撲・若貴優勝決定戦
- ●野茂、大リーグ新人王に

2011年
- ●東日本大震災 M9.0 世界最大級

2013年
- ●伊豆大島で土石流災害
- ●台風30号 フィリピン中部直撃
- ●富士山、世界文化遺産に
- ●2020年のオリンピック開催地が東京に決定

第500号

昭和55年（1980年）3月発行

昭和55年3月13日　渡辺建設大臣と日建協三役が会談。時短と海外問題についての要請に対し、「魅力ある建設産業にするため労働環境の改善を図る一つとして時短問題をより良い方向へ指導する」「今後海外受注は増加するだろう。建設輸出を取り巻く環境の整備を検討する」と約束しています。

第570号

昭和59年（1984年）1月発行

結成以来30年発行を続けてきた「日建協ニュース」→「Compass」へ機関誌名変更。

「Compass」は、新しい組合活動のあり方を模索し、魅力ある産業づくりに取り組む日建協にとって、進むべき方向を見出す『羅針盤』との願いを込めて命名されました。

第700号

平成7年（1995年）4月発行

阪神大震災が発生して3カ月後の発行。加盟組合・企業において、被災者救護、援助物資の支援、ライフラインの復旧などが続けられるなか、日建協の義援活動の具体策が決定されました。内容は、26インチ自転車10台、肌着1000枚、シャツ800枚など。組織としては、平成に入り最大の44組合72000名となりました。

最近のCompass

今日の日建協活動

東日本大震災の復興工事の本格化や2020年東京オリンピック開催決定など、いっそうの労働負荷の増加が危惧されるなか、労働環境の改善をめざし、政策提言活動や時短推進活動に全力で取り組んでいます。また、次世代の産業の担い手確保や人材流出防止のため、産業全体の魅力化にむけた取り組みに注力しています。

日建協は、今年12月に結成60周年の節目を迎えます。これまで諸先輩方が積み重ねてきた軌跡を無駄にすることの無いよう、魅力ある誇り高き建設産業の実現に向けて、着実に歩んでいきましょう。Compassは、今後も進むべき方向を指し示す羅針盤としての役割を、しっかりと果たしていきます。

海外企画

海外作業所のお昼ごはんってどんな感じ?

日建協では、ゼネコンの海外進出に伴い、加盟組合間の海外の情報展開を図りたいと考え、今回コンパスにおいて海外特集を企画しました。海外作業所のお弁当（昼食）の紹介を通じて、現地で活躍されている皆さんの様子をお伝えします。

ブルネイ Negara Brunei Darussalam（マレー語） ～東南アジア～ 飛島労組

2ブルネイドル(BND)　約160円

インドネシアの協力会社の弁当を分けてもらっています。いつも四種類、ごはん、野菜料理、魚肉料理、季節のフルーツで構成されています。今回は、魚を揚げたものに唐辛子ベースのたれを絡めています。野菜は空芯菜をオイスターソースと唐辛子で炒めたもの、フルーツは梨のような味のものです。

作業所の仲間たち

【作業所概要】
工事名：パブラジャ・ツトンインターチェンジ建設工事
発注者：ブルネイ政府開発省公共事業局
工　期：2012年6月～2014年12月
その他：T字交差点交通渋滞緩和のための道路立体交差化工事
掘削工;24,000㎥、盛土工;78,000㎥、
購入土;43,000㎥、新設舗装;25,000㎡、
緑石工;17,000m、ガードレール;3,500m他

TOPICS　本工事は、ブルネイ国王の宮殿（通称イスタナ）と首都バンダー・セリ・ビガワンの間に位置し、そのため交通量が多く、朝夕の渋滞緩和のために計画されたT字交差点の道路立体交差化工事です。スタッフとして、日本人、ブルネイ人、フィリピン人、インドネシア人、中国系マレーシア人が働いており、毎日いろいろな国の言葉が事務所の中で飛び交っています。それゆえ、悪口を言われていても分かりませんが。当作業所のモットー、1. Collaboration、2. Enthusiasm、3. Never Give up を念頭にみんなで力を合わせて頑張っています。

現場風景

ケニア Jamhuri ya Kenya（スワヒリ語） ～アフリカ～ 東洋職労組

350ケニアシリング(KES)　約410円

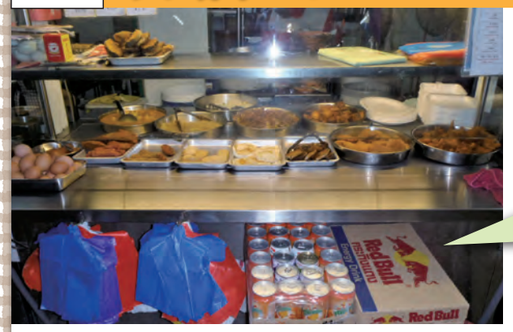
日本人職員がメイドに料理を教えて品数は少しずつ増えています。ケニア人は魚貝類を食べる習慣が少なく、おかずは肉料理が主流。ですが、今回の中身は白身魚のフライと白菜のおひたし。野菜はケニアの高地で生産され種類も豊富で新鮮です。現在のようにお弁当を事務所で食べられるようになったのは、10ヵ月ほど前からです。見た目は日本食でも味は薄味で日本人の舌には何か物足りない…。そこで役に立つのが「キッコーマン醤油」。現地のマーケットで購入可能です。ちなみに、ケニア人の現地職員は豆の煮込み、とうもろこしの粉で作ったウガリ（見た目はマッシュポテト）、牛肉のケチャップ煮込みなどをよく食べます。以前、地元食堂でランチを食べていた頃は、バックに忍ばせた「ほんだし」をひとかけし、ダシの効いた日本食に味を化けさせて食べている人もいました。

現場風景

作業所の仲間たち

【作業所概要】
工事名：モンバサ港コンテナターミナル開発工事
発注者：ケニア港湾公社
工　期：2012年3月～2016年2月
その他：コンテナターミナル建設（岸壁：水深15m、11m）、埋立480万㎥、35haコンテナヤード、取付道路、鉄道設備、管理棟

シンガポール Republic of Singapore（英語） ～東南アジア～ 奥村職組



3シンガポールドル(SGD)　約240円

当作業所の食堂はバイキング形式であり、一品あたり1ドルで加算され、3ドル程度の食事を取っています。食堂経営者及び調理する人はシンガポール人です。労働者はインド系、中国系が多くインド系はカレー、中国系は豚肉料理を好んで食べています。宗教的な要素から鶏肉が主に使われており、各々の出身国によって基本的に味付けが異なっています。

【作業所概要】
工事名：パークオリンピアマンション新築工事
発注者：コー不動産
工　期：2012年8月～2015年2月
その他：RC造地下1階、地上7～9階
共同住宅（8棟486戸）、地下駐車場（500台）
スポーツ施設

現場風景

TOPICS　チャンギ空港近くの工事現場で中心部から離れており、低層住宅の居住地域となっています。分譲マンションの特徴としては、プールなど入居者が使用できるスポーツ施設があります。作業所スタッフはシンガポール人より外国からのスタッフの方が多いです。労働者はインド、中国、タイ、バングラディシュとシンガポール周辺の国からの労働者によって施工が行われています。

シンガポール Republik Singapura（マレー語） ～東南アジア～ 五洋労組

3.5シンガポールドル(SGD)　約290円

【作業所概要】
工事名：Contract 933 - Construction and Completion of Jalan Besar Station and Associated Tunnels For DownTown Line Stage3
発注者：Land Transport Authority of Singapore
工　期：2011年8月～2016年12月
その他：地下鉄駅舎1箇所及び隣接駅間を結ぶ
トンネル4本、開削部延長262m
東側トンネル 1,230m×2本
西側トンネル 1,120m×2本

作業所の仲間たち

シンガポールでザ・お弁当と言えばこれ。通称「ぶっかけ飯」。正式名称はエコノミーライスと言います。店頭に並んだおかずの中からお好みをチョイスすればそのまんまご飯にのっけて、はい毎度!

TOPICS　当作業所の周辺には20世紀前半に建てられたショップハウスと呼ばれる1階が店舗、上階が住居になった低層建築が軒を連ねています。トンネルの一部はショップハウスの地下を通過するため、計測管理や建物の補強工事を実施しています。歴史あるショップハウスにも気を使いながら私たちもシンガポールの新たな歴史の1ページを作るべく工事を進めています!

現場風景

インド भारत गणराज्य（ヒンディー語） ～南アジア～ 三井住友社組

450ルピー(INR)
約740円

当作業所は、各日本人寮にインド人コックを雇っており、毎朝日本食弁当を作ってくれるため、食事の心配がなく、大変助かっています。味も美味しいです。個人的には、関西人にとって少し濃い味付けだと感じます。弁当の中身は、白飯、キャベツ入り味噌汁、チキンソーセージ、豚肉入り野菜炒め、ハンバーグ、ほうれん草です。

【作業所概要】
工事名：ニューデリー日本人学校増築工事
発注者：Gakko Bunka Education Society
工　期：2013年5月～2014年2月
その他：RC造、4階建、延床面積2,218㎡
建築面積554㎡、教室数20、エレベーター1箇所

現場風景＆作業所の仲間たち

TOPICS　ニューデリー日本人学校は、閑静な住宅街にあり、周辺住民からの苦情に対応しながら作業を行っています。また、校内に生徒が多数いるため、安全には細心の注意を払って作業をしています。インドの経済は、世界2位の人口に裏打ちされたポテンシャルにより、長期的視点から伸びていくと考えられ、それに伴い、日系企業進出が見込まれ今回の増築工事に至っています。竣工まで残りわずか、安全第一、工期厳守で日々作業を行っていきます。

ベトナム Cộng Hoà Xã Hội Chủ Nghĩa Việt Nam（ベトナム語） ～東南アジア～ りんかい日産職組

50,000ドン(VND)　約250円

専属のベトナム人料理人（1人）が日本人とフィリピン人用、約 20 人分を、和食中心に作ってくれます。写真のメニューは白米、味噌汁、ゆで卵、ゴーヤサラダ、豚の角煮です。

【作業所概要】
工事名：チーバイ・ゼネラルカーゴターミナル建設工事
発注者：ベトナム運輸省
工　期：2008 年 10 月～ 2013 年 2 月
その他：桟橋工、浚渫工、護岸工、土工、地盤改良工、 舗装工、排水工、建築建屋工
当工事はＳＰ五洋建設との共同施工プロジェクトです。

TOPICS　当プロジェクトは、ホーチミン市から南東に80kmほど行ったバリア・ブンタウ省に位置し、一般貨物ターミナルの新設工事で、JICAによるODA支援工事です。ターミナルの桟橋部は、鋼管杭とPHC杭の組み合わせによる杭式桟橋構造（延長600m×幅40m）です。完成後はパナマックス型バルカー船（6～ 7.5万重量ﾄﾝ　船幅32.2m以内）サイズが対象船舶となります。現場最盛期にはローカルエンジニア100人と1000人程度の作業員が港建設に従事していました。

メキシコ Estados Unidos Mexicanos（スペイン語） ～北米～ フジタ職組

20ペソ(MXN)　約160円

35ペソ(MXN)　約270円

作業所の前に朝で7件、昼で 5 件程の屋台が出ます。独特なチリがベースなので日本人は少し苦手ですが、特にこの屋台のタコスは美味しくて評判です。他にもトルタ、グリンガーが人気です。

TOPICS　作業所は、アグアスカリエンテス市街中心部から南に40kmほどの空港近くにあります。周辺は牧草地という場所。朝夕と日中の気温差が20度以上あり、日中は陽射しが強くよーく陽に焼けます。先日は作業員500名程度が働く中、近くの牧草地の牛が作業所敷地を横断し前面道路の中央分離帯で美味しそうに草を食べていました。牛馬は、ごく普通に周りにいるので誰も気にしていませんが…。酒はメキシコと言えばテキーラ。メキシコに来られた際には、タコスとテキーラを是非ご賞味あれ。

【作業所概要】
工事名：JMEX#2　NEW PLANT CONSTRUCTION PROJECT
発注者：Mexico　S.A.de C.V
工　期：2013 年 2 月～ 2014 年 1 月
その他：工場（敷地面積：約 300,000 ㎡
施工床面積：約 50,000 ㎡　S 造一部地上 2 階）

ニカラグア República de Nicaragua（スペイン語） ～中南米～

60コルドバ(NIO)
約240円

今日のお昼はトンカツがメインで、生野菜、パスタサラダが添えられています。首都から 5 時間離れた田舎にいるため材料が限られていますが、とても美味しいです。

TOPICS　首都マナグアより車で約4時間の場所で橋を建設しています。現場周辺には殆ど民家は無く、あるのは広大な牧場とみかん畑です。自宅から通えない現地エンジニアも多く、現場事務所兼宿舎で共同生活をしている人数は、日本人も含め13名にのぼります。慣れてしまえば通勤時間“0”と非常に楽です。現場も順調に進んでおり、毎日残業続きで苦しいという事もありません。月に1回程度ですが、首都でのんびり過ごす休暇が楽しみです。竣工まで残りわずかであり、橋もまもなく全線つながります。ニカラグアにお立ち寄りの際は、ぜひ当現場へお寄り下さい。

【作業所概要】
工事名：サンタフェ橋建設計画
発注者：ニカラグア共和国　公共事業省
工　期：2011年6月～ 2014年4月
その他：橋台2基、橋脚9基、
橋長362m

メキシコ Estados Unidos Mexicanos（スペイン語） ～北米～ 安藤ハザマユニオン

35ペソ(MXN)
約270円

本日のメニューはメキシコの一般的な家庭料理。ひき肉と豚モモをチリソースで炒めたもの、ほうれん草の卵炒めに定番のペースト状のフリホーレス（豆）。パスタのコンソメスープに主食のトルティーヤ。現場事務所横に、大型テントを設置して食堂として利用しています。昼食時間は、日本より1時間遅く、13 時～14 時迄です。

TOPICS　当作業所は、日本人職員計14名（うち出張2名）、メキシコ人ローカルスタッフ24名、計38名で構成されています。現地ワーカーを含めると、本日現在350名程度が就労しており、今後最盛期には、1日あたり千名以上が本工事に従事すると見込んでいます。朝礼では、ラジオ体操の後、『安全は全てに優先する（スペイン語でAnte todo, primero seguridad !）』を皆で唱和しています。文化の壁を乗り越え、日本人・メキシコ人を問わず一人ひとりが切磋琢磨しながら絆を深め、工事に関わった者、皆の記憶に残る仕事をするため、今日も一日笑顔で楽しく頑張ります!

【作業所概要】
工事名：（仮称）ホンダメキシコトランスミッション工場新築工事
発注者：HONDA DE MEXICO S.A. DE C.V
工　期：2013 年 8 月～ 2014 年 11 月
その他：鉄骨造、延床面積 56,597 ㎡

ザンビア Republic of Zambia（英語） ～アフリカ～ シミズユニオン

15クワッチャ(ZMW)
約280円

白い大きなお餅のようなものはシマというザンビアの主食です。トウモロコシを粉のように挽いたものを鍋で戻して食べます。あまり味はありません。手でコネながら食べるのがコツです。おかずは主に野菜です。オクラやホウレンソウのような野菜に味付けしたものです。

【作業所概要】
工事名：ザンビア・ルサカ南部地域居住環境改善計画
発注者：ザンビア共和国地方自治住宅省
工　期：2013 年 1 月～ 2014 年 11 月
その他：ルサカ市南部地域における道路新設、道路総延長 14.853km
2 車線のアスファルト舗装、幅員 (1 車線あたり)3.5m

TOPICS　ルサカ市内の交通渋滞を緩和することにより、市民の生活環境を改善し、地域の経済活動を活性化するために、内環状道路や接続道路などを日本の無償資金活用により整備しています。未開の荒れ地の表土剥ぎから始めていきますが、大きな岩が多く、発破をしながら工事を進めています。10月～11月が小雨季、12月～3月が雨季のため、工事ができない日が多くなりますが、晴れた日の施工促進に努め、乗り越えていきたいと思います。

海外のお弁当企画はいかがでしたか。現地の料理人に日本食を作ってもらっている作業所や、一般的な地元料理を食べている作業所など、お昼ごはん一つとっても様々でしたね。どの記事からも、国内とは違う労働環境の中で、日々仕事に邁進されている海外赴任者の生活ぶりを窺い知ることができたと思います。ご協力いただきました組合員の皆さん、ありがとうございました！

日建協をより身近なものに！

～日建協活動勉強会を開催～

日建協では、加盟組合の皆さんの日建協活動に対する理解が深まること、そして、活動への参加意識を高めていただくことを目的として、執行部の方を対象に勉強会を開催しています。今年度もこれまで5加盟組合で開催しましたのでご紹介します。

（平成25年11月末日現在）

丸彦渡辺職組

2013.8.31開催　参加者約30名

定期大会終了後、各支部の代議員の方を中心に開催しました。若手組合員の方も多く出席されていたことから、組合活動の基礎的な知識を説明したのちに、産業別労働組合である日建協の活動全般について説明しました。

大豊労組

2013.9.28開催　参加者12名

「日建協とはどういった組織なの？」との声にお応えすべく、産業別労働組合である日建協の概要と活動全般について説明しました。
また、提言活動・統一土曜閉所運動などについて、現場の生の声をいただきました。

戸田職組

2013.11.27開催　参加者33名

「日建協の提言活動を良く知りたい」との声にお応えすべく、各支部の書記長、中央委員の方々を対象に、日建協の概要や活動全般、そして土木（公共）工事と建築（民間）工事のこれまでの提言活動について説明しました。

佐藤職組

2013.9.12開催　参加者18名

活動全般と日建協個別賃金について説明しました。日建協の過去の活動である『日曜日を休もう運動』について、「地道な運動により日曜が休みとなった。土曜も休める建設産業をめざして活動を続けて欲しい。」とのエールをいただきました。

安藤ハザマユニオン

2013.10.3開催　参加者4名

中央執行部の方々を対象として、「日建協個別賃金」を説明し、賃金表やライフステージの設定について理解を深めていただくと同時に、本来あるべき賃金水準について、皆さんと考えながら意見交換をしました。

日建協では、この勉強会を加盟組合の皆さんと意見交換ができる大切な機会だと考えています。いただいた貴重なご意見は、私たちのあらゆる活動に活かしていきます。
今後も、加盟組合のニーズに合わせて実施していきます。
ぜひ、日建協活動勉強会の活用をご検討ください！

【第２弾】理想のおつまみ

お酒と上手に付き合おう！

皆さん！ 日々のお仕事お疲れ様です！
今回は上手な飲み方の第2弾として「理想のおつまみ」について紹介します。

空腹状態でお酒を飲むと、胃腸の粘膜を荒らしてしまうだけでなく、アルコールが胃壁から勢いよく吸収されて血液中のアルコール濃度が急激に上昇するため、あらゆる臓器に障害を及ぼしやすくなります。おつまみと共にお酒を飲むことで、アルコールと胃の粘膜の接触を緩和し吸収を遅らせ、悪酔いを防ぐと同時に胃腸障害を予防することができます。
では、理想とされる代表的なおつまみを見ていきましょう。

タウリン

肝臓の解毒作用を促進する

食材：ホタテ、牡蠣、サザエ、蛤、マグロの血合い、イカ、タコなど

タウリン・・・胆汁酸の分泌を促し肝臓の働きを助けます。肝臓の毒素ろ過機能を高めます。

ビタミンB1

アルコールを分解する手助け

食材：豚肉、うなぎ、豆類など

ビタミンB1・・・糖質の代謝を助けます。多量に摂っても排泄されるため、過剰摂取の心配はありません。

たんぱく質

肝機能を高める

食材：豆腐、チーズ、卵など

たんぱく質・・・肝臓の修復と肝細胞の再生を促進します。摂り過ぎは生活習慣病につながる恐れがあります。

その場の雰囲気を楽しみながら、おいしいおつまみと共にゆっくり飲むことが、上手な飲み方と言えるようです！

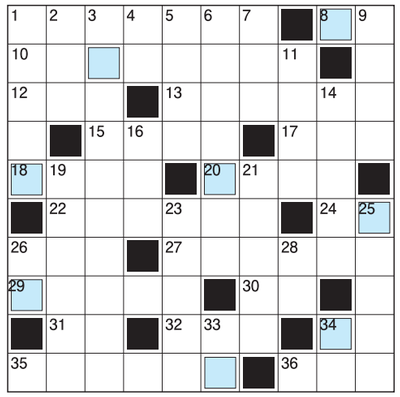
楽

クロスワードタイム

明けましておめでとうございます。本年もクロスワードをよろしくお願いします。
二重枠の言葉を並び替えると答えが出ます。答え、郵便番号、住所、氏名、加盟組合、Compass の感想を記入し、はがきかメールでご応募ください。正解者の中から抽選で 30 名様にクオカードを贈呈します。

■〆切：2月14日（金）　■宛先：mail → info@nikkenkyo.jp　はがき → 〒169-0075 新宿区高田馬場1-31-16 守山ビル3F 日建協クロスワード係

ヒント：これが決まれば金メダル



▶ ヨコのカギ

1. 初夢で見ると縁起がよいものの順位。「○○○○○三茄子」。
8. 新約聖書に登場する、パウロの協力者。
10. 暦注の六曜（ろくよう）の一つ。万事によいとされる日。
12. からだに力を入れること。また、力が入ること。
13. 料理で、サイコロのような小さな立方体に切ること。
15. 概要だけを記した簡単な系譜。
17. 簡単な絵のような形で、言葉･文字･記号の代わりとするもの。
18. チョウジの別名。また、その花のつぼみを乾かした香辛料。肉料理などに用います。
20. 同類のものを集めたもの。同じ種類の記事･語句などを集めた書物。
22. 複数の品種･銘柄と組み合わせることで、よりおいしいお米になり、品質･価格も調整する効果があります。
24. 出世魚で、体長80cm以上のものを呼びます。
26. デビュー曲「夏の日の1993」が大ヒットした、男性デュオグループ。
27. ステージに整列し、全員が一斉に同じステップを踏みます。
29. 中･高等学校で、生徒の自治意識を育てるために設けられた組織。
30. 歌に伴う言葉のこと。
31. 近畿地方のほぼ中央を占める県。
32. もし、ある事が起こったとき。そうなった折。
34. 1,000kgを表す単位。
35. トウモロコシを使った、西洋料理の汁物。
36. 釣りの道具です。

▶ タテのカギ

1. 欧文活字の一つで、少し右に傾いた書体。
2. 区画された土地の区域。一定の範囲の土地。
3. 家族連れで気軽に利用できる料理店。
4. ネズ（社松）の実の香りをもった蒸留酒。
5. 同じ耕地で、1年に2回同じ作物を栽培すること。
6. 日常の動作における身のこなし。
7. 各種の遊戯施設を備えた、公認のギャンブル場。
9. 漢文を訓読する際、文字の順序とは逆に、下の字を読んだあとで、読む字。
11. 洋服のえりに折り返しがなく立っていて、胸もとで詰まっているもの。主に学生服にみられます。
14. 疑問や反語の意を表す形の文。
16. よる。夜中。夜間。
19. 米国の映画監督･俳優で、主な監督作品に「スタンド･バイ･ミー」や「ミザリー」があります。
21. 上位の合議体のために作業する、委員によって構成される組織体。また、その会議。
23. 自動車を運転する人。
25. 聞くこと。聞き取り。ヒアリング。
26. ことわざ。「無くて七○あって四十八○」。
28. 祭礼のとき、引いて練り歩く屋台。
33. 杏（あんず）を英語で言うと「○○リコット」。
34. 舞台などで、最後に出演する人。

Vol.799クロスワード　正解と当選

答えは
「リニアシンカンセン（リニア新幹線）」でした。

ア	マ	ノ	ハ	シ	ダ	テ	■	オ	サ
ク	エ	ン	サ	ン	■	コ	ウ	モ	ク
タ	■	フ	ミ	キ	リ	■	ス	テ	ラ
ガ	メ	ラ	■	ヨ	ク	セ	イ	ザ	イ
ワ	ダ	イ	サ	ク	■	ミ	ト	シ	ロ
シ	カ	■	イ	■	ヒ	コ	ウ	キ	■
ヨ	■	ア	ケ	ツ	ピ	ロ	ゲ	■	コ
ウ	イ	ニ	ン	グ	ラ	ン	■	ミ	ス
■	コ	マ	■	ナ	ク	■	ウ	ン	モ
オ	イ	ル	ペ	イ	ン	ト	■	イ	ス

多数のご応募ありがとうございました。
次の当選者の方々にクオカードをお送りします。

谷澤ちか子（安藤ハザマ）、加藤 寛、白井淳裕、安岡礼史（鴻池）、伊藤規子（五洋）、茂木智行（佐藤）、小出直剛（シミズ）、河内拓也（錢高）、谷口弘樹、林 加代子（鉄建）、青木奈菜、島内和典、渡邊麻衣香（東洋）、菅谷悦和、宮下 淳（戸田）、鈴木秀幸、中山 淳、東 圭介（飛島）、浅沼秀雄、梶野祐司、浜田瑞穂、又市麻梨子（西松）、福田 喬（JS）、網岡直美（松村）、榎木恭子、森本雅志（三井住友）、田中裕人、長倉康、中村賢作、山田敦子（横河）　＜敬称略＞

舫（もや）い

「遭難」－山登りをする人にとってドキッとする言葉であり、辞書を引くと、“災難にであうこと。特に山や航海で命を失うような危険にあうこと”とある。

山登りが趣味の某は、過去に大きな遭難を1回経験している。

それは大学３年のとき、スキー部で行った月山夏合宿で起こった。月山は夏スキーで有名な山だが、某の所属していたスキー部はリフトのある南西面には目もくれず、南東面の「清川小屋」で自炊しながら、残雪を整備しポールを立て練習するといった合宿を例年おこなっていた。

通常、下から登山道を使うので迷うことは無いが、その年は台風で途中の川が増水し渡行困難。南西面から頂上を経由し南東面に下りるルートで小屋にむかわざるをえなくなった。ところが頂上付近は雪が多く小屋までの登山道が見つからない。残雪を越え見つけた登山道を下ったらルートを誤っていたのである。

夕方になり、疲労と不安で途方にくれる部員たちを横目に、責任者の一人だった某は、「ここに荷物を置いて歩ける人で登山道を探そう。疲れて歩けそうにない人はここで宿営する準備をして、腹ごしらえをしよう。」もう、生きるのに必死である。

そんなとき、遠くに明かりが見えた。先発隊が小屋に着き飯を炊く準備を始めたようだ。「助かった。」その明かりを頼りに、持っている力をふり絞り励まし合いながら小屋にたどり着いたときは、陽もとっぷり暮れていた。

あれから20年余・・・今でも部員と集まると当時のことが話題に上る。大げさかもしれないが、さまざまな奇跡が揃って今ここに生きていられるのかもしれない。

以後、山登りの際は、入念な計画と十分な装備で臨むことにしている。　（guntri）

編集後記

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。

皆さん、年末年始は心身ともにゆっくりと過ごされましたでしょうか。帰省や旅行など、リフレッシュされたのではとご推察いたします。この一年も日建協は全力で前進していきます。ぜひ皆さんのお力添えをお願いいたします。

さて今号、重要な活動である会社訪問における加盟組合企業経営者への提言と意見交換について報告しました。組合と経営者、立場は違いますが『魅力ある建設産業にしなければならない』という真剣な思いは同じであることが分かりました。

また、加盟組合参加型企画として「海外のお弁当特集」を掲載しました。ゼネコンの海外進出が進むなか、加盟組合間において海外作業所の情報を少しでも展開したいという思いで企画しましたがいかがでしたか。参加いただいた皆さんの協力の下、とても読みごたえのある誌面になったのではと思います。

「Compass」は、1954年12月の初刊からこれまで発行を積み重ね、今回ついに800号となりました。記念特集として過去の日建協の歩みを振り返っていますので、ぜひご覧ください。これからも、私たちの活動を皆さんに理解していただくことで、日建協への参加意識と連帯意識が少しでも高まるよう願いを込めて制作していきます。忌憚のないご意見、ご感想をお待ちしています。

日建協ホームページ http://nikkenkyo.jp/　Compassへのご意見、ご質問、クロスワード、何でもこちらのアドレスに ➡ info@nikkenkyo.jp

三井住友建設社員組合

三井住友建設株式会社は、平成15年4月に旧三井建設と旧住友建設の合併により発足し、国内土木、国内建築、海外を3本柱として事業展開しています。

三井住友建設社員組合は、会社の合併に伴い、平成15年8月に新組合として発足し、「一人ひとりが前向きに行動する組合員の集合体となることを目指す」というビジョンにむかって活動を展開しています。

平成22年に現在の本社所在地である東京都中央区佃の本社ビル内に組合事務所を移転しました。大川端リバーシティの超高層マンション群の中にあり、隅田川を渡る中央大橋からの東京スカイツリーの眺めは最高です。

前列左から
青山執行委員、三橋書記長、戸倉副執行委員長、山木執行委員長、澁川副執行委員長(日建協派遣)、桑野執行委員、四十万執行委員、後列は支部長の皆さん

- 設　　立：平成15年8月
- 組合員数：2,164名（平成25年10月31日現在）
- 本部執行委員会：毎週木曜日（昨年度実績58回開催）
- 支　部　数：12支部
- 本部執行委員数：7名
- 組　織　率：85.8%

会社と組合員の信頼回復にむけて

三井住友社組では、「『期待』を『実感』にかえていく」「現実を踏まえた上で自分たちの目的を実現するために何ができるか考える」「昨年度実施した組合員意識調査の結果を踏まえて満足度の向上に努める」「労使の信頼関係を再構築して好循環の流れをつくる」という4つの方針のもと、活動を展開しています。

組合員意識調査では、会社と組合員の信頼関係が危うい状況にあることがわかりました。一向に改善しない賃金水準と長時間労働という現実が、会社への不信を招き、組合員の離職に繋がっていると思われます。「もう辞めたい」という組合員の声にどう向き合うのか、会社と組合の姿勢が問われていると感じています。

山木執行委員長

組合本部の取り組み

組合本部では、現在の低い賃金水準をいち早く回復させることに取り組んでいます。更に「賃金問題検討会」を立ち上げて、賃金のあるべき姿を労使で確認し、どのように組合員の処遇を向上させていくのかを共に考えています。さらに会社側と組合員が直接対話する中で生まれるよりよいアイデアを会社の施策に反映するために、会社・組合本部・組合員を含めた意見交換の場を全国支部で設けました。

また、会社事業の3本柱の一つである、海外事業に従事する組合員の労働条件や賃金水準について労使間で協議する場として、「海外問題懇談会」を設置しています。海外勤務の厳しい労働環境を直接会社側に伝えるべく、組合本部のほか、海外に駐在する分会長も出席して、国際本部、国際支店の管理部門を含めた会社側と、膝をつきあわせて議論しています。

事務局の松丸さん

横浜支部での現場見学会の様子

福利厚生については、各支部が主体となって厚生行事を企画・実施しています。一つの例として横浜支部では、組合員間の連帯意識の向上につながる行事として、組合員が家族連れで施工中の現場を訪問する現場見学会を実施しました。組合員が最前線の現場で働く姿を直接家族に見てもらうことで、建設産業の魅力に触れていただくとともに、組合員の労働環境改善に取り組む組合活動への理解につながっています。

組合員の労働条件向上にむけて

組合員の長時間労働が一向に改善されないことは皆さんも感じておられると思います。当組合では労働時間の適正管理を行い、自分の労働実態を把握した上で時短への意識を醸成し、会社側と一緒に時短推進を少しずつでも実現していくことが大切と考えています。

日建協について

三橋書記長

日建協加盟により、他の加盟組合とのヨコのつながりが深まり、普段の自分たちの考えとは違った見方を知ることができることに大きな意義を感じています。また、日建協が保有する豊富なデータを活用し、より厚みのある労使交渉ができることにも意義を感じています。今後、産業別組織としてますます存在感を発揮していくことを期待しています。

山木執行委員長と三橋書記長の組み合わせは今年度2年目になり、円熟味ある執行部運営を行っています。毎週の執行委員会で、執行部が顔を突き合わせながら意見を出し合うことで、組合の発信力を強化しています。

多くの組合員が執行部の活動に注目するなか、組合の意義をより感じてもらえるよう、特徴ある検討会、懇談会を立ち上げて、労使交渉の場で組合員の声をいろいろな形で伝える機会を設けているとのことです。三井住友社組の皆さんの今後更なる活躍を祈念いたします。日建協も応援していきます。

日本建設産業職員労働組合協議会　〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-31-16 守山ビル3F　TEL.03-5285-3870　発行人：澁川 明　編集人：吉田 朋生